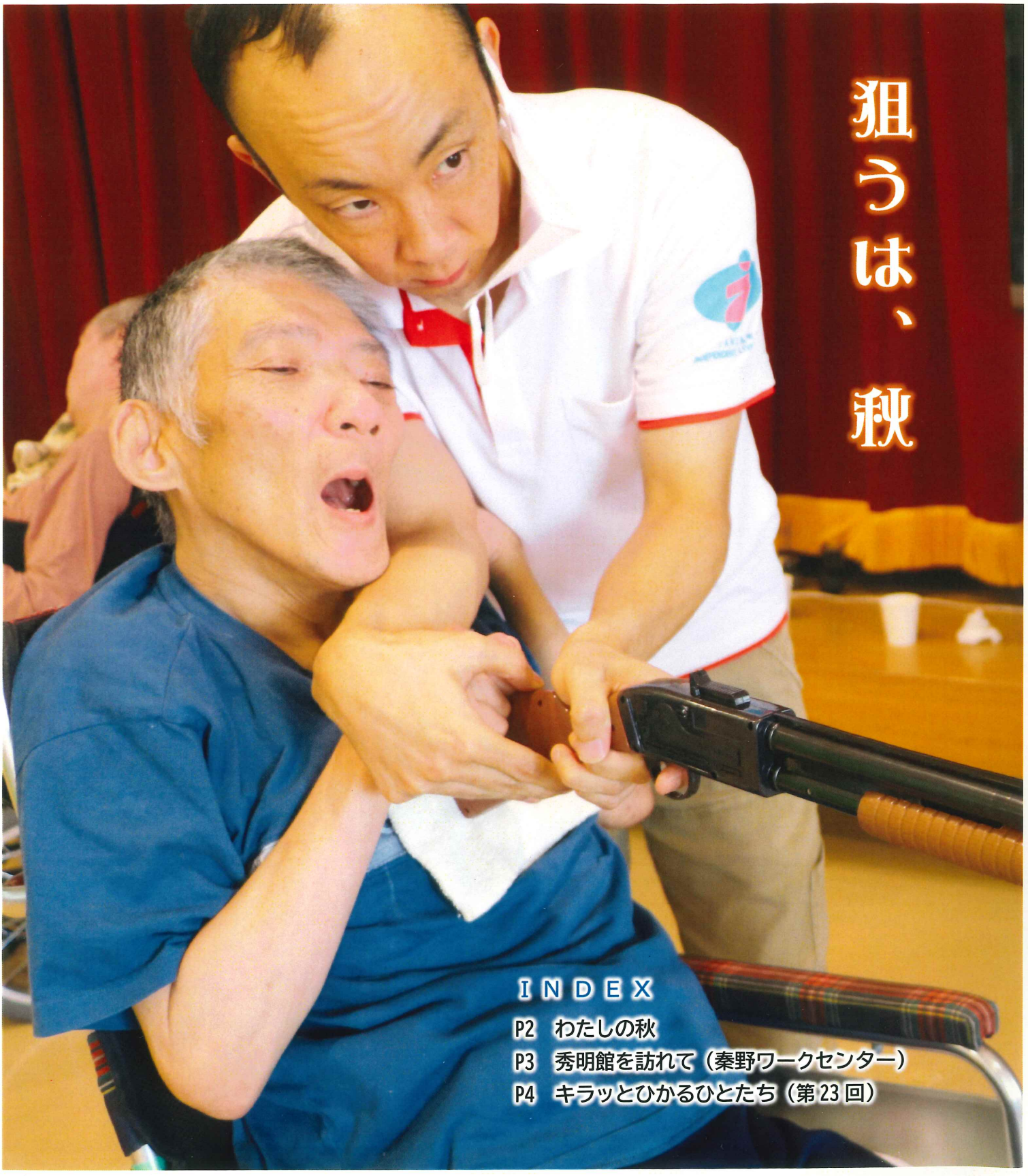
ぶなの森

社会福祉法人 常成福祉会

Vol. 108
2026年10月号

発　　行：社会福祉法人常成福祉会
　　丹沢自律生活センター
発行責任者：伊藤崇博
印　　刷：秦野ワークセンター



INDEX

P2　わたしの秋
P3　秀明館を訪れて（秦野ワークセンター）
P4　キラッとひかるひとたち（第23回）

利用者さんに聞きました

私の○○の秋

それぞれの"秋の楽しみ"を教えていただきました♪

挑戦の秋

小船さん
（ともしびショップみなせ）



9 月から家族と離れてグループホームでの生活を始めました。
目指せ一人暮らし！

収穫が楽しみな秋

遠藤さん
（秦野ワークセンター）



野菜の収穫、イチゴの苗の準備も進めています。
実りと収獲の喜びを感じながら、今年も畑仕事に大忙しです。

快適の秋

田端さん
（あじさい）



暑いのが大の苦手です。
秋は過ごしやすくて快適なので思わず笑ってしまします。

おさんぽの秋

浅見さん
（なのはな）



お母さんとよく来ているお散歩コース
今日は、風がきもちいいね！

芸術の秋

相原さん
（花鳥デイサービスセンター）



絵画の先生に教わるごとに上達しています。
こんどは、何を書こうかな？

肉食の秋

仲亀さん
（さんやヘルパーステーション）



今日は毎月1回のステーキの日。
500g位ならペロっと。
まだまだいけます！

アニソンの秋

村山さん
（丹沢レジデンシャルホーム）



大好きなカラオケの十八番は仮面ライダー・ウルトラマン。丹沢の秋空に響き渡ります。

みなさんにとって、
どんな"秋"が一番ですか？

★SPECIAL STORY　HADANO WORK CENTER × SHUMEIKAN

編んだのは、籠だけじゃない

人と人をつなぐ、ひとつの仕事。 | 秀明館を訪ねて







秦野ワークセンター活動紹介

訪問記

姥子温泉　秀明館 | 金太郎のかよい湯治
神奈川県足柄下郡箱根町元箱根 110-1
☎0465-84-0026

籠が、現場で生きている

今も金太郎伝説が伝わる姥子温泉。その一角にある名湯・秀明館様に、秦野ワークセンターが製作したオーダーメイドの籠をご購入いただきました。ホームページにも籠について素敵な記事を掲載してくださり、そのお礼と、実際に使われている様子を見せていただくため、製作に携わった利用者さん２名と職員で訪問しました。



「自分たちの仕事」が、お客様の時間につながっていた

受付には私たちの籠が並び、浴衣やタオルを入れて受付から湯床、さらに岩風呂へ。秀明館様のご厚意で利用者さん自身がお客様へ籠を手渡す体験もさせていただきました。

うれしい知らせ

お客様からもご質問が…

ホームページをご覧になったお客様から籠について声を掛けていただくこともあるそうです。さらに！この日は新たな籠の追加注文までいただきました。



「湿気にも問題なく、使い勝手が格段によくなりました」
秀明館様からいただいた、うれしい言葉





最後には特別のご配慮で岩風呂のお湯もいただき、心も身体もすっかり解きほぐされました。
籠を作るときと同じように、利用者さんみんなで文章を考え、文字を書き、イラストを添えて作ったお礼の手紙。「籠が、手紙が、しめ縄が。それぞれに編まれた三つのものが、秀明館で出会った」――。ものをつくることから、人と人とのつながりが生まれる。
そんな素敵な一日になりました。

秀明館様、本当にありがとうございました。

KIRATTO shining people VOL.23



臨床心理士/公認心理師
Aoki Arisu
青木 亜里
常成福祉会 たんぽぽ教室
湘南こころの保健室 Join（代表）

平成29年度入職。たんぽぽ教室の心理士として活躍しています。相談しやすい雰囲気なので、ついスタッフも子育ての悩みやプライベートの相談をしてしまいます。

平塚市で『湘南こころの保健室 Join』というカウンセリングルームを経営しています。

心理のお仕事

たんぽぽ教室ではお子さんの心理検査を行ったり、療育に入って1人ひとりに適した環境を、スタッフと一緒に考えたりしています。

保護者支援も大事な仕事ですので、子どもの心の成長に大切なことを伝える勉強会を開催したり、保護者の方の相談に応じたりしています。

最近では、たんぽぽ教室に限らず、丹沢レジデンシャルホームでの成人の居住者さんのカウンセリングや職員対象のハラスメント研修を担当させていただくなど、新たなお仕事の機会もいただいています。

チームの一員に！

入職したばかりの頃は検査などに追われて過ごしていましたが、徐々に「もっと勉強会を開催して、保護者の方と一緒に理解を深めたい」、「講義だけでなくワークも取り入れたい」などと考えるようになりました。そうしたアイディアをスタッフに相談すると真剣に耳を傾けてくれ、「支援チームの一員として尊重されている」と感じられてとても嬉しかったです。決まった業務をこなすだけではなく、専門職としての意見を求められ、業務改善に反映しようとしていただけることが、仕事のやりがいと面白さにつながっていると思います。

保護猫ボランティア



プライベートでは、ご近所のガレージで野良猫が子猫を産んだことから保護活動に協力し、2匹の子猫を預かるボランティアを始めました。始めの頃は近づくと牙を見せて威嚇し、深夜にケージから脱走して泣き続けるので寝不足にも。慣れてもらうにはどうしたら良いのだろう…？と、ネットで検索したり、保護猫ボランティアの方に聞いたり。休日は子猫の世話や情報収集に費やす日が続きました。ちょうど畑を借りて野菜を育て始めたりもしていたので、わが子の世話、子猫と愛犬の世話、野菜の世話…と、なんだか世話ばかりして「ケアラー」になってるなぁ、と苦笑してしまう時もありました。

その後少しずつ子猫たちも慣れてきて、撫でると目を細めて受け入れてくれるようになりました。そうなると可愛さが増すもの。家族と相談して、子猫たちの里親になることを決めました。まだまだ完全には人間に慣れていませんが、これからも成長を見守っていきたいです。

社会福祉法人 常成福祉会

丹沢自律生活センター ぼだい【法人本部】
〒259-1302 神奈川県秦野市菩提 1711-2
TEL：0463-75-3300
FAX：0463-75-3377
HP：https//jousei.or.jp
E-mail：tanzawa@jousei.or.jp

丹沢自律生活センター みなせ
〒259-1306 神奈川県秦野市戸川 26-1

ホームページはこちらから

「ともしびショップみなせ」からのお知らせ



メニューに『ナン』と『紅茶』が加わりました。
食欲の秋です。是非ご賞味ください。



MINASE_CURRY